

2023

第3日
8月10日(木)



- 文化財の取り扱い体験(美術)
- 文化財の取り扱い体験(古文書)
- 展示企画を考えてチラシを作ってみよう

文化財の取り扱い体験

美術

- 取り扱いを教えてもらったのが、少し教養を得られた気がしてうれしかった。
- 後世に残すため、という心で取り組んだ。
- 慎重に扱わなければいけなくて、とても緊張した。



文化財の取り扱い体験

古文書

- 今まで古文に苦手意識があったが、今回実物に触れてみて興味がわいた。
- 触って読んでみたかったので、それができてとても感動した。



展示企画を考えてチラシを作ってみよう

- チラシをどのようにして作るかを考えるのも仕事で、とても大変だと分かった。
- 「より人が来なくなる」という考え方が大切だった。



参加者の感想

実物に触れることができる喜びを感じた。

好きなものにかまれて働ける、学芸員にさらにあこがれた。



調査・研究する上で知識に加え、粘り強さや諦めない心が必要だと知った。

文化財などの保管が厳重で、とても大切に扱われていることが分かった。

岡山県立博物館

ジュニア学芸員講座

令和5年度報告集

令和5年(2023)

8月8日(火)~
8月10日(木)

POINT
ここがおすすめ!



1 学芸員の
仕事が体験できる!



2 文化財に
さわることができる!



3 文化財の
見方が分かる!

“ジュニア学芸員講座”とは??

岡山県立博物館では、展覧会や文化財の調査・研究など、さまざまな文化活動をしています。その活動の中心となるのが学芸員です。この講座では、岡山県内の中学校・高校に通う生徒の皆さんが「ジュニア学芸員」として博物館の活動を体験し、本物の文化財を通して岡山の歴史と文化を学びます。令和5年度は8月8日(火)~10日(木)の3日間で開催し、19名が参加しました。本報告集では、その様子をご紹介します。



(一財)岡山県教育職員互助組合 助成事業

主催

岡山県立博物館

Okayama Prefectural Museum

岡山後楽園前 〒703-8257 岡山市北区後楽園1番5号
TEL.086-272-1149(代表) FAX.086-272-1150
<https://www.pref.okayama.jp/site/kenhaku/>



2023

第1日
8月8日(火)

プログラム
program

- 開講式、オリエンテーション、施設見学
- 博物館と学芸員の仕事(講義)
- 博物館展示の案内
- 文化財の取り扱い体験(考古学)
- 文化財の取り扱い体験(陶磁器)、写真撮影

講義

博物館と学芸員の仕事

- 実際に話を聞くことで、学芸員についてもっと詳しくなりたいと思った。
- 学芸員がどういうものなのか知って、難しそうだけど楽しそうだった。



考古学

文化財の取り扱い体験

- たくさんの資料から情報を集めて出土物の年代が推測されていると分かった。
- 実際に発掘されたものを取り扱うのは大変だと分かった。



陶磁器

文化財の取り扱い体験 写真撮影

- 陶磁器のしまい方、出し方に次の人のために、資料のために、という工夫がたくさん隠れていることが分かった。
- 光の工夫で写真の印象が変わって面白かった。



2023

第2日
8月9日(水)

プログラム
program

- 文化財の取り扱い体験(刀剣)
- 文化財の取り扱い体験(民俗)
- 岡山城天守閣見学

刀剣

文化財の取り扱い体験

- 刀の模様や見るべきポイント、刀職人の小さな工夫を見逃さない学芸員はすごい。
- 最初は近くで見るのが怖かったけど、刃文とかが分かって、面白いと思えるようになった。



民俗

文化財の取り扱い体験

- 地域によって道具の材質や用途が異なり、実際に自分で触ってみて分かるものがあると知った。
- 現在当たり前に使っているものが、どのように進化してきたのか知ることができて面白かった。



岡山城 天守閣見学

- 展示レイアウトやライトなど新しい視点を知り、以前来たときより深く学べて良かった。
- 岡山城について知ることができて、また行ってみたいと思った。

